



たねがしまロケットマラソン



うちのうら銀河マラソン



南種子町の小学生を招いての交流学習



たねがしまロケットマラソン



南種子町の小学生を招いての交流学習



南種子町 宇宙兄弟宣言調印式 肝付

# “宇宙兄弟”

# 宣言 10周年

友好と交流の歴史

様々な交流事業

宇宙兄弟宣言以降、これまで宇宙にちなんだ名称のマラソン大会や小中学生が宇宙について学ぶ宇宙少年団での活動など様々な事業で相互交流を進めてきました。マラソン大会は両町からランナーを招待し南種子町が「たねがしまロケットマラソン」、肝付町は「うちのうら銀河マラソン」の大会名で、ロケットファンのみならず一般ランナーにも人気の大会が行われてきました。

このほか、子どもたちの交流学習では、JAXA職員を招いての講話やペットボトルロケットの制作、打ち上げなども行ってきました。

そうした取り組みを続けることで、両町の友好と交流を深め、宇宙の町づくりとその発展を共に目指しています。

共に歩んだ 10年

JAXAのロケット打ち上げ施設をもつ南種子町と肝付町が友好都市提携「宇宙兄弟」を宣言して今年、10周年を迎えました。

両町は宇宙開発を牽引するロケット打ち上げ場など象徴的な施設を有し、設置当初から打ち上げを支え、応援し続けてきた一方で、宇宙に関連する資源を活用した地域振興にも力を入れてきました。

こうした共通点を持った両町の取り組みは、アニメや映画に

もなった小山宙哉氏の人気漫画「宇宙兄弟」の主人公である兄弟、南波六太（ムツタ）と日々人（ヒビト）が切磋琢磨し、宇宙飛行士として歩む姿に重ねられて、宇宙兄弟として宣言されました。

「宣言調印式には、「宇宙兄弟」の原作者・小山宙哉氏から、「日本の宇宙開発を支える肝付町と南種子町には、六太と日々人のように刺激し合って、目標に向かって前進する力が湧いてくるように願っております」というお祝いのメッセージが贈られました。

## ▶南種子町・肝付町民より、10周年に寄せて——



**石堂 裕崇さん**  
南種子中学校1年生  
日本宇宙少年団  
南種子町宇宙科学分団  
父から内之浦の事や宇宙少年団での交流など、良く話を聞かされていまして、いつかは肝付町に行き、実際に打ち上げられるロケットを見たいと思います。



**服部 鳳空さん**  
中平小学校4年生  
日本宇宙少年団  
南種子町宇宙科学分団  
親の仕事でイプソン3号機の打ち上げ時に肝付町に初めて行きましたが、寝てしまっただけで、僕だけ見ていません。いつかリベンジしたいです！



**上妻 寛大さん**  
上妻酒造株式会社  
代表取締役  
コラボ企画「宇宙兄弟」では大海酒造さんと焼酎兄弟になりました。これからはロケットと共に両町はタッグを強固に宇宙のまちとして繋がっていきましょう。



**村岡 知行さん**  
観光拠点施設「宙の家」代表  
10周年を迎え改めてまだやれる事はあるなあと感じます。お互いに射場がある町として何事も協力して解決できればと思います。



**伊地知 玖日さん**  
内之浦小学校6年生  
日本宇宙少年団  
うちのうら銀河分団  
宇宙少年団は、他校との交流や様々な活動ができる事が魅力だと思います。私は他の学校の子とお話するのが大好きです。



**西川 武蔵さん**  
内之浦小学校5年生  
日本宇宙少年団  
うちのうら銀河分団  
今後、南種子町の小学生のみんなとインターネットを使って交流したり、一緒に授業が受けられたりすると嬉しいです。



©小山宙哉・講談社/読売テレビ・A-1 Pictures

### 原作「宇宙兄弟」概要

2007年に『モーニング』（講談社）で連載開始した漫画。30歳を超えてから宇宙飛行士になる夢に挑戦するムツタと、彼よりも先に夢を実現し月面に降り立つ弟・ヒビト、宇宙を目指す仲間たち、それを支える人々が織りなす濃厚な人間ドラマ。2011年に第56回小学館漫画賞（一般向け部門）、第35回講談社漫画賞（一般部門）をダブル受賞。その後、アニメ化・実写映画化等を果たす。



▲ 宣言書



▲ 宣言調印式の様子